

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成20年8月14日 (2008.8.14)

【公表番号】特表2005-510568(P2005-510568A)

【公表日】平成17年4月21日 (2005.4.21)

【年通号数】公開・登録公報2005-016

【出願番号】特願2003-547416(P2003-547416)

【国際特許分類】

C 0 7 D 471/04 (2006.01)

A 6 1 K 31/4985 (2006.01)

A 6 1 K 31/706 (2006.01)

A 6 1 P 1/00 (2006.01)

A 6 1 P 1/04 (2006.01)

A 6 1 P 1/06 (2006.01)

A 6 1 P 1/12 (2006.01)

A 6 1 P 3/04 (2006.01)

A 6 1 P 9/06 (2006.01)

A 6 1 P 9/08 (2006.01)

A 6 1 P 17/00 (2006.01)

A 6 1 P 21/02 (2006.01)

A 6 1 P 25/02 (2006.01)

A 6 1 P 25/08 (2006.01)

A 6 1 P 25/12 (2006.01)

A 6 1 P 25/14 (2006.01)

A 6 1 P 25/16 (2006.01)

A 6 1 P 25/18 (2006.01)

A 6 1 P 25/20 (2006.01)

A 6 1 P 25/22 (2006.01)

A 6 1 P 25/24 (2006.01)

A 6 1 P 25/28 (2006.01)

A 6 1 P 25/30 (2006.01)

A 6 1 P 25/34 (2006.01)

A 6 1 P 29/00 (2006.01)

A 6 1 P 43/00 (2006.01)

C 0 7 H 13/10 (2006.01)

C 0 7 H 19/23 (2006.01)

【 F I 】

C 0 7 D 471/04 1 2 0

A 6 1 K 31/4985

A 6 1 K 31/706

A 6 1 P 1/00

A 6 1 P 1/04

A 6 1 P 1/06

A 6 1 P 1/12

A 6 1 P 3/04

A 6 1 P 9/06

A 6 1 P 9/08

A 6 1 P 17/00

A 6 1 P 21/02

| | | |
|---------|-------|-------|
| A 6 1 P | 25/02 | |
| A 6 1 P | 25/02 | 1 0 3 |
| A 6 1 P | 25/08 | |
| A 6 1 P | 25/12 | |
| A 6 1 P | 25/14 | |
| A 6 1 P | 25/16 | |
| A 6 1 P | 25/18 | |
| A 6 1 P | 25/20 | |
| A 6 1 P | 25/22 | |
| A 6 1 P | 25/24 | |
| A 6 1 P | 25/28 | |
| A 6 1 P | 25/30 | |
| A 6 1 P | 25/34 | |
| A 6 1 P | 29/00 | |
| A 6 1 P | 43/00 | 1 1 1 |
| C 0 7 H | 13/10 | C S P |
| C 0 7 H | 19/23 | |

【誤訳訂正書】

【提出日】平成20年6月27日(2008.6.27)

【誤訳訂正 1】

【訂正対象書類名】特許請求の範囲

【訂正対象項目名】全文

【訂正方法】変更

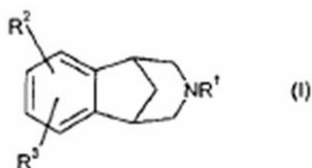
【訂正の内容】

【特許請求の範囲】

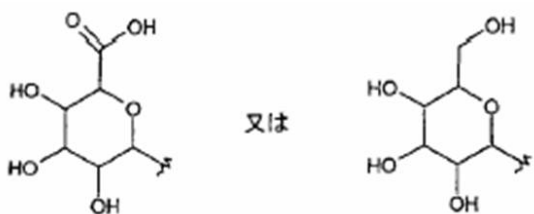
【請求項 1】

下記式 (I) :

【化 1】

{ 式中、 R^1 は $-\text{COOR}^4$ であり、ここで、 R^4 は以下の式 :

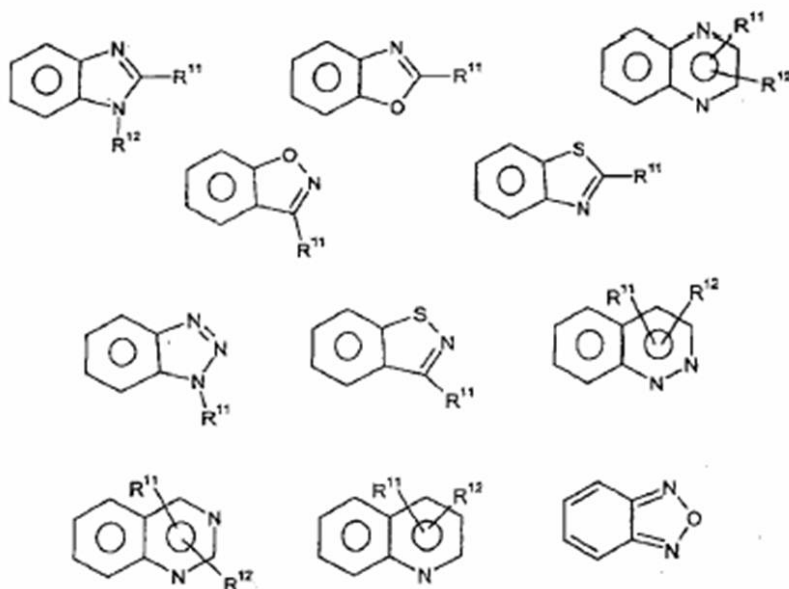
【化 2】



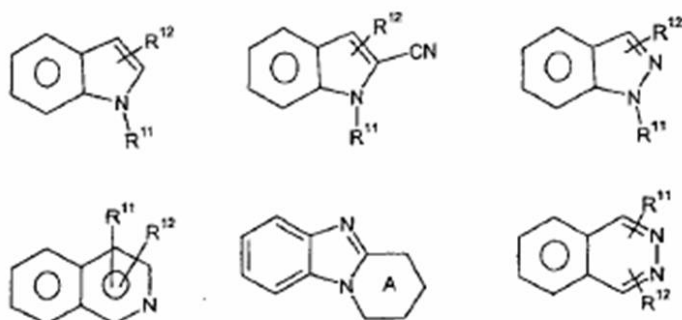
により表される基であり、

 R^2 と R^3 は、それらが結合するところのベンゾ環と一緒にあって、以下の式 :

【化 3】



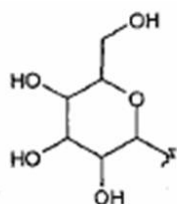
【化 4】



(式中、環 A の炭素原子の内の 1 は、酸素又は N (C₁ - C₆) アルキルで場合により置換されることができ、

式中、R¹¹ 及び R¹² は、独立して、水素、(C₁ - C₆) アルキル、及び (C₁ - C₆) アルコキシ - (C₀ - C₆) アルキル - (ここで、炭素原子の合計数は 6 を超えず、そして上記アルキル部分のいずれも、1 ~ 7 個のフッ素原子；ニトロ、シアノ、ハロ、アミノ、(C₁ - C₆) アルキルアミノ -、((C₁ - C₆) アルキル)₂ アミノ -、- CO₂ R⁵、- CONR⁶ R⁷、- SO₂ NR⁸ R⁹、- C(=O) R¹⁰、- XC(=O) R¹⁰、フェニル、単環式ヘテロアリーの基で、場合により置換されることができ)、又は窒素原子に結合するとき、以下の式：

【化 5】



の基から選択され、

R⁵、R⁶、R⁷、R⁸、R⁹、及び R¹⁰ の各々は、水素及び (C₁ - C₆) アルキル、から独立して選ばれるか、或いは

R⁶ と R⁷、又は R⁸ と R⁹ は、それらが結合しているところの窒素と一緒に、ピロリジン環、ピペリジン環、モルフォリン環、アゼチチン環、ピペラジン環、- N-(C₁ - C₆) アルキルピペラジン環、又はチオモルフォリン環、或いはチオモルフォリン環であって

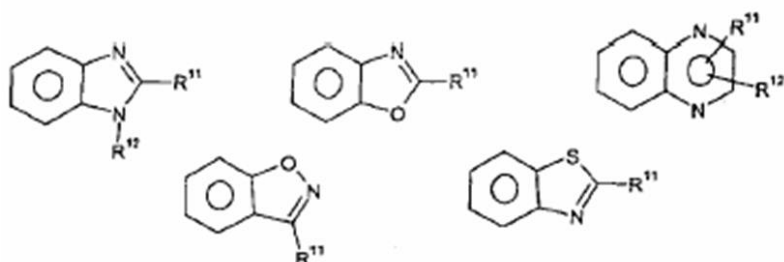
その環の硫黄がスルフォキシド又はスルホンで置換されているものを形成し；そして各 X は独立して ($C_1 - C_6$) アルキレンである。) から選ばれた2環式の環状構造を形成する。

により表される化合物及び医薬として許容されるその塩。

【請求項 2】

R^2 と R^3 が、それらが結合するところのベンゾ環と一緒にあって、下記：

【化 6】

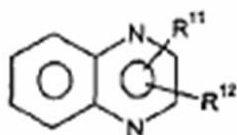


(式中、 R^{11} と R^{12} は請求項 1 において定義したものと同一である。) により表される式から選択される2環式の環状構造を形成する、請求項 1 に記載の化合物。

【請求項 3】

R^2 と R^3 が、それらが結合するところのベンゾ環と一緒にあって、下記の基：

【化 7】

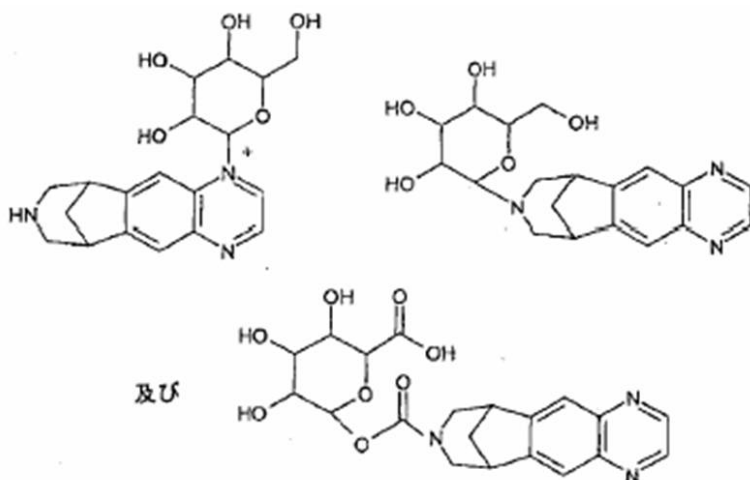


(基中、 R^{11} と R^{12} は請求項 1 において定義したものと同一である。) を形成する、請求項 1 に記載の化合物。

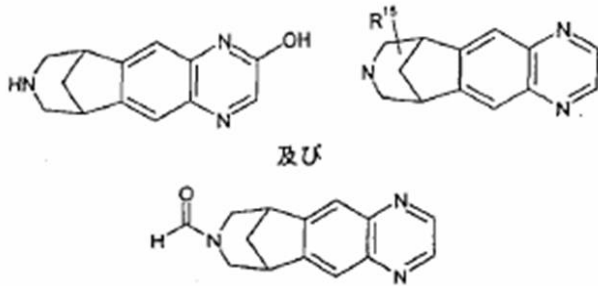
【請求項 4】

下記：

【化 8】



【化 9】



(式中、 R^{15} は、分子の不飽和部位上の利用できるいずれの炭素原子を伴って機能的なカルボニルを形成するオキシ基である。)

から成る基から選ばれる、請求項 1 に記載の化合物。

【請求項 5】

人を含む哺乳動物において、ニコチン中毒を低減し又はタバコの使用を止めるか若しくは減らすのを手助けする際に使用する医薬組成物であって、ニコチン中毒を低減し又はタバコの使用を休止若しくは減らす手助けをする際に有効である、請求項 1～4 のいずれかに記載の一定量の化合物又は医薬として許容されるその塩及び医薬として許容される担体を含む前記医薬組成物。

【請求項 6】

人を含む哺乳動物においてニコチン中毒を減らし又はタバコの使用を止めるか若しくは減らす手助けをするための方法であって、ニコチン中毒を減らす際に又はタバコの使用を止める若しくは減らす手助けをする際に有効である、請求項 1～4 のいずれかに記載の一定量の化合物或いは医薬として許容されるその塩を上記の哺乳動物に投与することを含む前記方法。

【請求項 7】

哺乳動物における炎症性腸疾患、潰瘍性大腸炎、壊疽性膿皮症、クローン病、過敏性大腸症候群、痙攣性筋緊張異常、慢性痛、急性痛、腹腔熱帯性下痢、囊炎、血管収縮、不安、恐慌症、うつ病、双極性障害、自閉症、睡眠障害、時差ぼけ、筋萎縮性側索硬化症 (ALS)、認知機能障害、高血圧症、過食症、摂食障害、肥満、心不整脈、胃酸過多、潰瘍、褐色細胞種、進行性核上性麻痺；ニコチン、タバコ産物、アルコール、ベンゾジアゼピン、バルビツレート、オピオイド、又はコカインに対する化学物質依存症及び化学物質中毒；頭痛、偏頭痛、脳卒中、外傷性脳損傷 (TBI)、強迫性障害 (OCD)、精神病、ハンチントン舞蹈病、遅発性ジスキネジア、運動亢進症、失読症、統合失調症、脳血管性痴呆、年齢と関連する認識能低下、てんかん、小発作性てんかん、アルツハイマー型老人性痴呆 (AD)、パーキンソン病 (PD)、注意欠陥多動性障害 (ADHD)、及びトウレット症候群から選ばれる疾患や症状を治療する方法であって、そういった治療が必要な哺乳動物に、そのような疾患や症状を治療するために有効である、請求項 1～4 のいずれかに記載の一定量の化合物又は医薬として許容されるその塩を投与することを含む前記方法。

【請求項 8】

哺乳動物における炎症性腸疾患、潰瘍性大腸炎、壊疽性膿皮症、クローン病、過敏性大腸症候群、痙攣性筋緊張異常、慢性痛、急性痛、腹腔熱帯性下痢、囊炎、血管収縮、不安、恐慌症、うつ病、双極性障害、自閉症、睡眠障害、時差ぼけ、筋萎縮性側索硬化症 (ALS)、認知機能障害、高血圧症、過食症、摂食障害、肥満、心不整脈、胃酸過多、潰瘍、褐色細胞種、進行性核上性麻痺；ニコチン、タバコ産物、アルコール、ベンゾジアゼピン、バルビツレート、オピオイド、又はコカインに対する化学物質依存症及び化学物質中毒；頭痛、偏頭痛、脳卒中、外傷性脳損傷 (TBI)、強迫性障害 (OCD)、精神病、ハンチントン舞蹈病、遅発性ジスキネジア、運動亢進症、失読症、統合失調症、脳血管性痴呆、年齢と関連する認識能低下、てんかん、小発作性てんかん、アルツハイマー型老人性痴呆 (AD)、パーキンソン病 (PD)、注意欠陥多動性障害 (ADHD)、及びトウレット症候群から選ばれる疾患若しくは症状を治療するための医薬組成物であって、請求項 1～4 のいずれ

かに記載の一定量の化合物又は医薬として許容されるその塩、及び医薬として許容される担体を含む前記医薬組成物。

【請求項 9】

前記化合物が単離された形態である、請求項 1 に記載の化合物。

【誤訳訂正 2】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0004

【訂正方法】変更

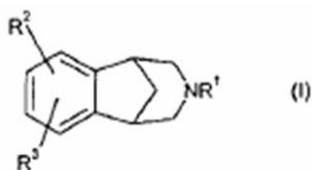
【訂正の内容】

【0004】

発明の要約

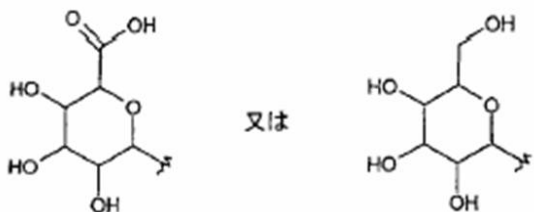
本発明は、以下の式 (I)：

【化 10】



{ 式中、R¹ は、独立して、水素又は -COOR⁴ であり、ここで、R⁴ は以下の式：

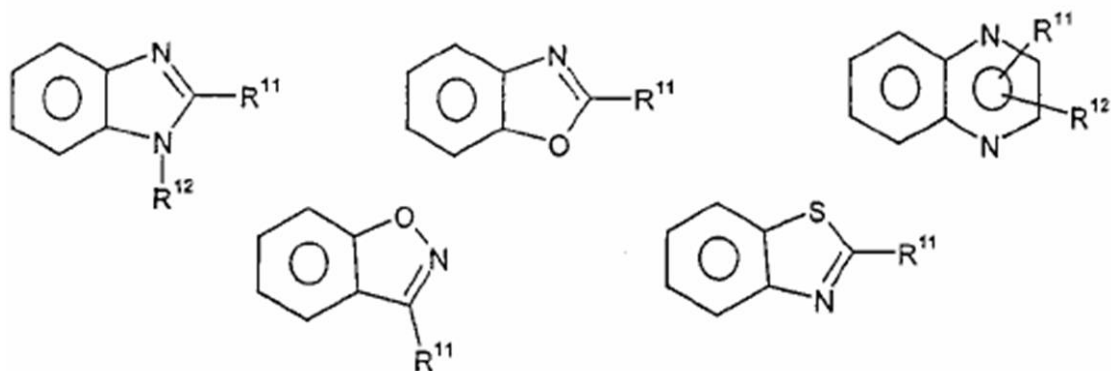
【化 11】



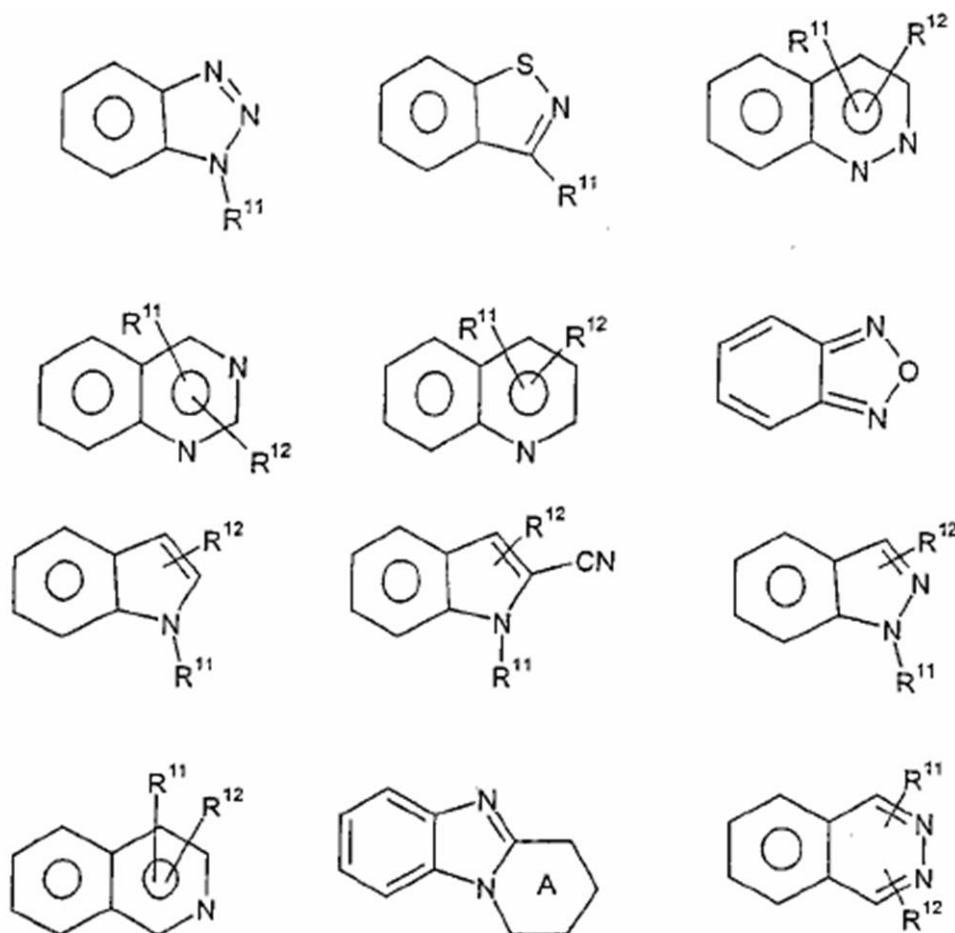
により表される基であり、

R² と R³ は、それらが結合するところのベンゾ環と一緒に、以下の式：

【化 12】



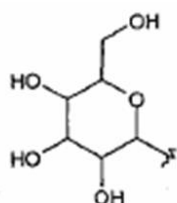
【化 1 3】



(式中、環 A の炭素原子のうち 1 は、酸素又は N (C₁ - C₆) アルキルで場合により置換することができる、

式中、R¹¹ 及び R¹² は、独立して、水素、(C₁ - C₆) アルキル、及び (C₁ - C₆) アルコキシ - (C₀ - C₆) アルキル - (ここで、炭素原子の合計数は 6 を超えず、そして上記アルキル部分のいずれも、1 ~ 7 個のフッ素原子；ニトロ、シアノ、ハロ、アミノ、(C₁ - C₆) アルキルアミノ -、((C₁ - C₆) アルキル)₂ アミノ -、- CO₂ R⁵、- CONR⁶ R⁷、- SO₂ NR⁸ R⁹、- C(=O) R¹⁰、- XC(=O) R¹⁰、フェニル、単環式ヘテロアリーの基で、場合により置換されることができ)、又は窒素原子に結合するとき、以下の式：

【化 1 4】



の基から選択され、

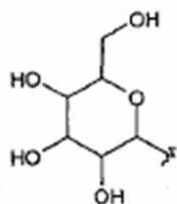
R⁵、R⁶、R⁷、R⁸、R⁹、及び R¹⁰ の各々は、水素及び (C₁ - C₆) アルキル、から独立して選ばれるか、或いは

R⁶ と R⁷、又は R⁸ と R⁹ は、それらが結合しているところの窒素と一緒に、ピロリジン環、ピペリジン環、モルフォリン環、アゼチチン環、ピペラジン環、- N - (C₁ - C₆) アルキルピペラジン環、又はチオモルフォリン環、或いはチオモルフォリン環であってその環の硫黄はスルフォキシド又はスルホンで置換されているものを形成し、そして各 X は独立して (C₁ - C₆) アルキレンであり；

但し

R^1 がHであるとき、 R^{11} 又は R^{12} の少なくとも1は、 R^2 及び R^3 基により形成されている環内の窒素原子に結合し、かつ、必要ならば存在している結合関係を満たすように当該窒素原子上にアンモニウムイオン中心を形成する以下の式：

【化 1 5】



により表される基でなくてはならない。)により表される式から選ばれた2環式の環状構造を形成する。} により表されるアリール基が結合したアザポリサイクリック化合物及び医薬として許容されるその塩に関する。